

藤友



編集後記

表紙の写真は、北九州宗像中央病院です。昨年からの施工の末、この度無事竣工する事が出来ました。今回の建設を通じ、地域医療の発展の一助に貢献できましたこと、弊社にとって大変誇らしく、この様な機会を与えて頂いたお施主様、設計事務所様、関係各位の皆様に大変感謝致しております。

巻頭特集

全国安全週間

TAKAFUJI仕事図鑑



全国安全週間



安全週間 社長メッセージ

第92回安全週間スローガン 「新たな時代にPDCA みんなで築こうゼロ災職場」

スローガンの中にあるPDCAは、労働災害防止のために、働く人、みんなのマネジメントの基本となる、「計画(Plan)・実施(Do)・評価(Check)・改善(Act)」という意味で、これら一連の課程を確立し、より一層の安全な職場環境を形成するよう呼びかけています。今年も昨年に引き続き無災害を継続していきましょう。

「令和元年ゼロ災害は、みんなの願い。」



統括安全衛生責任者
高藤元太郎



news 02 安全大会を開催しました。

第92回を迎える安全週間行事の一環として、安全大会が福岡本社、福岡支店、大阪支店にて開催されました。



本社

無災害現場876件ほか多数を表彰。
事故を防ぐ食生活などの講演も!

福岡支店

酷暑の夏に備えて
熱中症に対する知識と
初期対応を再確認。



7月4日(木)に門司体育館で開催。無災害竣工現場表彰と、安全に特に尽力した社員表彰を行いました。記念講演は、「パフォーマー力を上げる毎日の食生活と歩き方で事故を防げる」と題して管理栄養士、ウォーキングインストラクター三穂かおる様にお話頂きました。

本社建設部 吉浦

令和元年度 安全表彰受賞者

無災害現場表彰
日本通運筑前田マルチロジセンター
建設工事ほか876件

高藤建設部

優良賞 建設部 河崎 竜市
努力賞 建設部 原 賢志郎

高藤建設安全衛生協力会の部

社長賞 有限会社コトウ内装 後藤 信明 様
協力会長賞 株式会社野口商会 西村 賢佳 様

大阪支店

社員、協力会会員
ともに一丸となって、
無災害3000日達成!



7月5日(金)、都島神社にて安全祈願の後、安全大会を開催しました。今回の安全表彰では、支店長賞に九星電機工業(株)様、支部長賞に四國機械設備(株)の増井様、平成30年の無災害現場がそれぞれ受賞。無災害3000日達成に向けて前進していきます。

大阪支店 古賀

news 03 全国安全週間 安全作品紹介

社員と家族から、安全意識高揚のためのポスター、習字、標語、バッジを募集。全79作品の応募があり、受賞は次の通りです。



社長 高藤元太郎

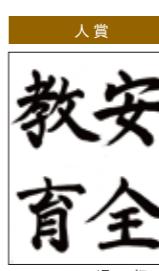
習字の部



社員家族 渕 希世香



ADD室 坂本 まどか



社員家族 湯下 都

1位 危険予知 チームワークで 事故回避

福岡支店 千々和 幸輔

2位 「危ないよ!」 声かけあうのも 思いやり 忘れるな 熱中症への 危険予知

社員家族 座木 忠良
大阪支店 古賀 忠司

佳作 気を抜くな! 手慣れた作業に 落とし穴 危険箇所 直ちに直せ! 事故のもと おこたるな 基本動作と 危険予知

購買部 佐々木 和也
ADD室 豊島 和司
管理部 田中 康雄



管理部 吉本 宏子 ADD室 豊島 和司



大阪支店 秋永 孝博



社員家族 高藤 春紀 事務センター 座木 恵子



管理部 吉田 康一 建設部 吉浦 隆市



ADD室 加藤 葉子 社長 高藤 元太郎



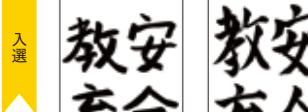
大阪支店 鶴原 優



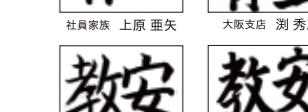
社員家族 座木 忠良



建設部 吉浦 隆市



入選 教育安全 大阪支店 清 秀次



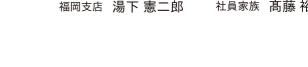
社員家族 上原 亜矢 大阪支店 清 秀次



入選 教育安全 大阪支店 清 秀次



社員家族 高藤 春紀



社員家族 高藤 裕太

PICK
UP!

TAKAFUJI お仕事図鑑

最新の施工実績を、
各担当者より紹介します。

▶ 北九州宗像中央病院



▶ 日本通運株式会社 MLC-II



全作業員の意識を高め、
工期の遅れも克服！

DATA



工事長
和田 宣明

建設部所属

躯体構築時の人員不足と、猛暑による遅れを、積極的な工程の先取りで解決。仮設工事では現場見える化し、全作業員に周知。残土処理では、隣地にて仮置きできることで効率UPできました。内部の施工は、お施主様とのヒアリングとサンプルを使った模型での確認を随時実行。大きな現場では、細部の納まり検討会を行う、各自「いい仕事意識」を上げていくことが重要だと思いました。



■発注者／社会医療法人北九州病院 様 ■工事名／北九州宗像中央病院移転新築工事 ■設計監理／株式会社内藤建築事務所 様 ■工期／2018年1月18日～2019年6月30日 ■規模／鉄筋コンクリート造 地下1階 地上6階 延床面積12265.06m² ■所在地／福岡県宗像市



地域物流の一大拠点としてのニーズに応える施工を実現。

DATA



工事長
松瀬 英克

建設部所属

II期工事では、地域物流の一大拠点として、より多くのニーズに対応できる倉庫や事務所等を配置。荷物の頻繁な入出庫に対応できるよう、入口部は可能な限り開放。屋根材は、断熱性を高めるため二重葺き断熱折板、壁材は断熱材をサンドイッチした金属パネルを採用しました。また、土間コン精度を重点品質目標として掲げ、入念な施工計画・施工・現場管理のもと、高い施工精度を実現しました。

■発注者／日本通運株式会社 様 ■工事名／日本通運株式会社 MLC-II建設工事 ■設計監理／日通不動産株式会社 様 ■工期／2018年11月5日～2019年7月19日 ■規模／倉庫棟：鉄骨造平屋建 事務所棟：鉄骨造2階建 建築面積16,725.57m² 延床面積17,815.92m² ■所在地／福岡県京都郡苅田町

PICK UP!

ただいま施工中

▶ 九州日新アイランドシティ倉庫



**現在、外壁塗装工事が完了！
8月末竣工に向け進捗中。**

現在、外部関係は足場解体中。壁の仕上がり状況が徐々に見え、外構工事は工作物の施工等を行っています。今後は、大庇等の施工を進めます。内部の九州日新様事務所ゾーンはほぼ完成、テナント様事務所の施工中です。また、倉庫ゾーンは搬送機関係の設置工事、電気や機械設備関係の施工を順調に進めています。期間は残り僅かですが、施主様のご指導の下、満足頂ける建物の完成を目指します。

■発注者／株式会社九州日新様 ■工事名／九州日新アイランドシティ倉庫新築工事 ■設計監理／高藤建設(株)福岡支店一級建築土木事務所 ■工期／2018年9月1日～2019年8月31日 ■規模／S造5階建て延床面積26,298.65m² ■所在地／福岡市



タカフジ

品質管理
システム

PQC 発表大会

高藤建設では、各現場において、適正な品質管理の向上と改善を目指し、「品質管理システムPQC発表大会」を毎年開催しています。今回はフェーズ2(現場部門)に、4現場からエントリーがありました。



**【総評】4現場による発表。
各現場の工夫、改善に
取り組む姿勢を評価。**

5月24日(金)に実施した発表大会では、これまでに竣工した4現場の発表が行われ、いずれも各現場がそれぞれ独自に工夫、改善を行っており、お客様に提供するに相応しい最適な品質管理を実施している状況を確認することができました。

PQC推進委員長 鶴田

**工程管理や安全面で
高い評価！福岡支店が
努力賞を受賞しました。**

努力賞 三光(株)SO-II増産プラント建設工事

通常の建築工事と異なり、設備・機械工事(別途工事)がメインのプラント内の工事です。特に、機械据付箇所のレベルやボルトの穴の施工位置には、密に精度確認を実施。既設エリアや稼働中の配線・配管もあり、火気使用時の養生にも十分配慮しました。



工程管理は、突発的な事象にも柔軟な対応できる体制を整えました。各協力業者の迅速で適切な対応のおかげで、スムーズに進行出来たと思います。また、外部足場は次世代足場を使用。より安全面が特化され、作業し易い環境が可能となりました。

普段とは異なる作業環境の中で、新たに得た物・学んだ事が多くありました。無事故無災害で竣工出来たことが、今回の賞に繋がったと思います。

福岡支店 山平

PICK UP
CONTENTS



今季に開催されたイベントを紹介します。

TAKAFUJI TOPICS

01

高藤建設 安全衛生協力会 第51回定時総会

令和元年度初の 「安全衛生協力会」を開催！

6月21日(金)「高藤建設安全衛生協力会第51回定時総会」を、下関グランドホテルで開催しました。会員数50社、出席36社、委任状10社、規約第4章第13条2項過半数の出席をもって成立。原案通り、満場一致で可決となりました。

決議事項	第1号議案 平成30年度事業報告	第3号議案 令和元年度 事業計画案審議
	第2号議案 平成30年度決算報告 監査報告	第4号議案 令和元年度予算審議



02 「現場入退場
システム」を体験

「現場入退場システム」を、安全衛生協力会にて紹介しました。これは現場入退場の際に、QRコードを使って作業員の入退室とその方の情報管理を行うシステムです。総会受付で、実際にデモ機を使って体験していただきました。



03 当社の現場の様子をプロが撮影
萩 康博さんの
写真展を開催！



モノづくり北九州のアピールと人材確保につなげることを目的に、昨年から作業員の皆さんや現場の様子を、プロのカメラマンが撮影しています。そこで、「現場」「技術」、働く人の「創意工夫」「美しさ」を伝える写真展を開催します。

北九州会場	日時	7月26日(金)～28日(日) 10:00～18:00 (※最終日は20:00まで)	場所	リバーウォーク北九州 1階 キャニオンウォーク
福岡会場	8月17日(金)～18日(日) 博多駅前広場 予定			

04

自衛隊体験入隊研修

今年も4月5日から3日間、小倉南区の
小倉駐屯地内生活体験に参加しました！

主に集団行動での基本的な動作(号令での整列、行進)や体力測定、登山、生活規則などを体験しました。参加した新入社員に当日の様子についてインタビューを行いました。



二階堂 匠佑

建設部

学んだことは、時間管理とチームワークの大切さです。隊内での行動は、時間厳守で分割のスケジュールが組まれ、空いた時間の有効利用が求められました。班行動では、一人のミスは連帯責任になるため、互いに励まし合い、助け合いました。体調不良により途中で断念してしまいましたが、大事な事を学ぶことが出来たと思います。



村上 翔馬

福岡支店

改めて自衛官の素晴らしいと集団行動の必要性を実感しました。厳しい訓練、慣れない環境、周りは誰も知らない人という状況の中、自分がいかに取捨選択し行動するか、効率よく状況を判断する力が養われた様な気がしました。時間遵守、節度ある行動など異なる職種であれど共通点が多く、今後の業務にも活かしたいと思います。



岩坪 嶋馬

建設部

普段の生活とは違う、厳しい研修だと感じました。この3日間は、集団で行動することの大さ、時間を大事にすることを学びました。私たちに与えられた24時間を、どのように有効に利用していくか、いかに時間を管理していくかは自分の努力次第。この貴重な経験を、これから仕事に活かしていきたいと思います。



山田 寛乃

建設部

予想以上に大変な3日間でした。起床して5分で外へ、食事は10分、1日中立ちっぱなしで足がパンパンになりましたが、2日目の体力測定は楽しく、チームみんなで励まし合いながら取り組むことが出来ました。時には、他のチームの人とも応援し合ったり、チームは違っても、共に過ごす仲間として団結できたと思います。



伊藤 沙也香

ADD室

もともと体力がなく、想像以上に厳しい環境の生活で、初日から精神的にも大変でした。ただ、チームの人たちと助け合いながら、辛い時は班長、班付きの隊員の方にも励ましていただき、何とか乗り越えました。足並みを揃える集団行動で、全員で合わせて動けた時には楽しく、やりがいを感じるまでに成長できたと思います。



藤野 実由

管理部

この研修を通して、団結すること、規律を守ることの大さを学ぶことができました。3日間自衛隊の厳しい環境の中で、生活できるかとても不安でした。しかし、規律を守り、団結を意識しながら行動する生活を続けていくうちに、自然とスムーズに動けたり、自分の時間も作ったりすることができ、それを実感するまでに成長できました。



板谷 奈緒美

i-T 開発室

食事の時間、入浴の時間など、5分前行動が社会人にとっては当たり前だと痛感しました。当たり前として規律を守り、周りの人の事を考えて、キビキビと動く、それを一人ひとりが心がけることで団結がさらに深まると思いました。これを活かして社会人として、会社の一人の人間として成長していくたいと考えています。

おもいつくまに

村八分

むらはちぶ

捷に反した者に対する制裁で、村全体の、交際、取引など絶つことを、
村八分というのは「水」と「葬式」、都会では「火事」と「葬式」という。
二分だけは協力して付き合いをするということで、「拾か零か」「白か黒か」
というオール・オワー・ナッシングではなくて生きるために二分だけは
残すという、他国ではあまり見られない我が国独特の知恵であり、相手の
生きる権利を認めている事が、思いやりの心です。
最近学校内での苛めにより、自殺に追い込まれる事件や親による幼児虐待、
親子の殺人事件等々暗いニュースが続きます。そうなる前に、相談したり
迷ったら読む本を持つとかいろいろと防げることがあるはずです。

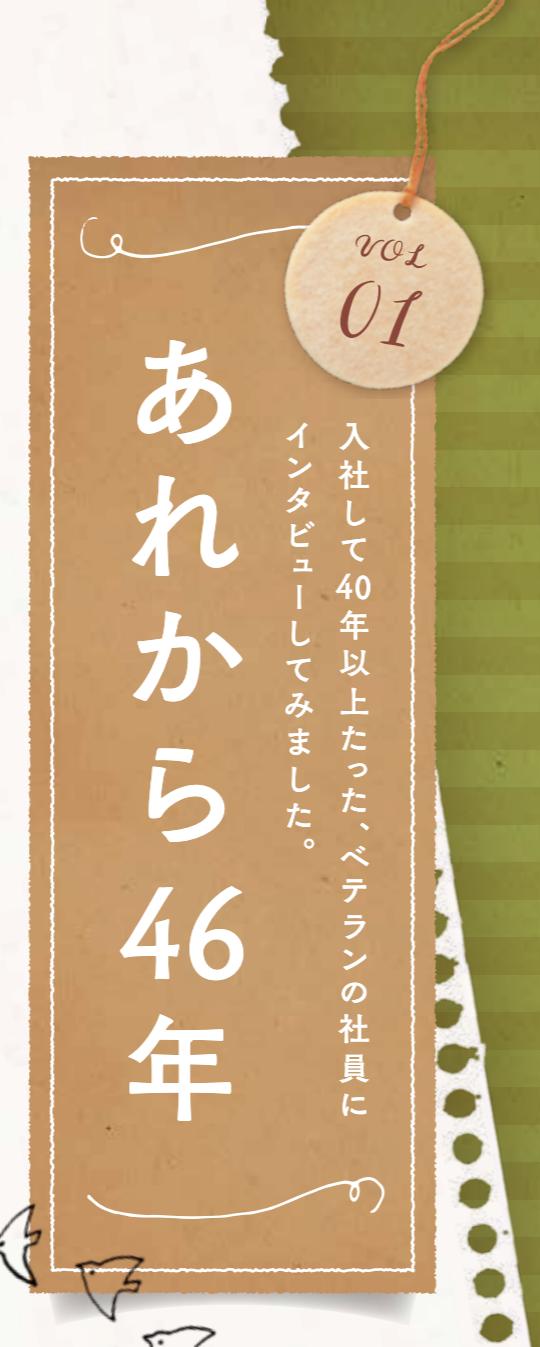
人生を生きる指針として「六中觀」という教えがあります。

「意中有人」「腹中有書」「苦中有樂」「死中有活」「壺中有天」「忙中有閑」
の六つです。人生をまとうするには、数々の試練や困難に遭遇したり
迷ったり、もう一步も進めなくなることがあります。
その時「意中有人」尊敬し信頼する人が居れば、相談したり話を聞いて
もらう人が居れば、適確な指示をされたり教示され目の前が明るく、道が
拓けます。その人のアドバイスで、気持ちが楽になったり迷いからさめたり
することが多々あります。自分一人でどんどんと落ち込むのではなく、
「意中有人」を持って人生を生き抜いて行きたいものです。

「腹中有書」悩んだり迷ったりした時に読む本を持つことも大事です。
聖書や偉人の伝記や尊敬する人の書物を読んで我にかえることがあります。
「死中有活」どんなに苦しくても、もうだめだと思っても必ず一本の細い道
があります。その道をめざして活路を見い出し決して諦めない精神力で
チャレンジすることです。たった一度の掛け替えのない人生を大切に生き
抜きたいと思います。



取締役会長 高藤 昌和



1973年入社 46年目

福岡支店 川上 剛 (65歳)

熊本県出身 副支店長・CS事業部長

好きな言葉▶仕事を追え、仕事に追われるな。(フランクリン)

趣味▶読書(年50~60冊) 好きな食べ物▶肉類



▲1978年(当時24歳)中国研修時の青年の船にて
ある時、当時の常務が現場巡視に来られ、会社
から支給された長い桟木を大工さんが短く切つ
て、社員寮はありましたが、結婚するまでは、工事
在籍、現在の福岡支店で16年目を迎えています。
で46年になります。本社に10年、徳山支店に20年
入社当時は助手が現場に宿泊するのが当たり前
で、社員寮はありましたが、結婚するまでは、工事
が終わると現場から現場へと移動していました。
私の配属された現場は、比較的中規模、短工期
のものが多かったおかげで、数多くの現場所長や
職さんに巡り会えました。皆様には怒鳴られ
ながらも、現場の施工管理について、ご指導をいた
だきました。

月日が経つのは早いもので、入社してから今年
で46年になります。本社に10年、徳山支店に20年
入社当時は助手が現場に宿泊するのが当たり前
で、社員寮はありましたが、結婚するまでは、工事
が終わると現場から現場へと移動していました。
私の配属された現場は、比較的中規模、短工期
のものが多かったおかげで、数多くの現場所長や
職さんに巡り会えました。皆様には怒鳴られ
ながらも、現場の施工管理について、ご指導をいた
だきました。

▲思い出深い宇部高専寄宿舎2棟
自分で現場を担当するようになって、もっとも
印象に残る現場は、宇部高専の寄宿舎2棟の新築
工事でした。現場は雑木林で、「こんなところに
建物が建つのか?」と思うような所です。道路の
苦難の連続だった、宇部高専寄宿舎の新築工事

の副賞でのハワイ旅行など、貴重な経験も数多く
させていただきました。

入社して40年以上たった、ベテランの社員に
インタビューしてみました。

今回のinterview



▲1978年(当時24歳)中国研修時の青年の船にて

自分が誇れるような
知識や技術を身につけて
現在CS部門を担当していますが、この部門
の存在意義として部員には、お客様の身になっ
て、何を要求されているのかよく考え、クイック
レスポンスで対応するように、そして、現場に
出たら、必ず一つくらいはサービス工事をして
帰るように指導しています。
また、一つだけでいいから、「彼の右に出るもの
はない」と言われるような知識や技を身に付ける
が、働ける間は微力ではありますが頑張らせて
いたくつもりです。更なるご指導、ご鞭撻
をお願い致します。



▲思い出深い宇部高専寄宿舎2棟